

観光名所“ローソク島”^{しま}のオリジナル土産で島を活性化！

ローソク島クリエイト／隠岐の島町商工会

- 業種 土産物製造販売業
- 住所 島根県隠岐郡隠岐の島町北方1356
- 電話番号 (08512)5-2435
- 定休日 不定休(直販店「ROWSOKUN」は
遊覧船運航期間のみ営業)
- ホームページ 「ローソク島クリエイト」で検索
<http://w01.tp1.jp/~a151926731/index.html>



私は

『小規模事業者持続化補助金』

を活用しました！

奇跡の絶景として有名な“ローソク島”。隠岐諸島がユネスコ世界ジオパークに認定されたことで、益々多くの方が訪れる観光スポットとなりました。このチャンスを活かそうと、奇跡の旅の出発地で“ローソク島オリジナル土産”の製造販売を始めた夫婦がおられます。「隠岐諸島の素晴らしさを多くの方に知ってほしい！目指すは世界のローソク島！」と奮闘する、代表の中西和志さんにお話を伺いました！

取り組みのきっかけはなんですか？

島観光の目玉となってきたローソク島ですが、自社オリジナル商品は数少ない状況でした。隠岐の観光振興には土産物の充実も欠かせない要素の一つと考えていたこともあり、創業当初から「レーザー加工機を使った、思い出を彩るオリジナル商品制作」の構想を練っていました。

商工会からどのような支援を受けられましたか？

レーザー加工機の導入にあたっては、コストを下げるために何らかの補助金が必要と考え、様々な機関へ相談したところ、力になってくれたのが商工会でした。以来、ホームページ制作や直販店舗「ROWSOKUN(ローソクくん)」の新装など、継続的・多面的にサポートいただいています。

取り組みの成果・効果を教えてください！

レーザー加工機を使って、現在、約50アイテムを作ることができます。お客様の笑顔は勿論ですが、島の方にも喜んでいただけたことはとても嬉しかったです。自社一貫製造ができるようになったことでコスト削減が図れ、バリエーションが増えたことで卸先も増えました。隠岐諸島は泊りがけで来られる方が多いので、飲食、宿泊、交通、体験、土産など全ての“コト”が繋がるのが大切だと思っています。「ローソク島！今やらなくていつやるの！」の意気込みで、体が続く限り、島のために頑張りたいと思います！

代表 中西和志さん

起業はしたものの、なにせ素人。思うように事は運ばず、自家製造のための設備投資に悩んでいましたが、最後にたどり着いたのが商工会でした。指導員さんには親身になって、直販店オープンにも力添えいただきました。コロナ後の需要に期待し、頑張っていきたいと思います。



高尾昌宏(経営指導員)

「ローソク島を訪れた人に旅の思い出を提供したい」という熱い思いをサポートさせていただきました。起業まもなく、分からないことばかりの中でも積極的に挑戦される姿勢をととても尊敬しています。これからも中西さんの思いを応援させていただきます！